



准フォレスター研修前期3回目 研修初日(H24.7.30)

①
前期最後となる第3回目の准フォレスター研修のスタートです。
まずは池田計画部長の挨拶で幕が上がりました。

森林・林業再生プランの機動力となるフォレスターに対する期待と民国連携した地域林業振興への希望等について熱い思いを語っていただきました。



③
開講挨拶の後にはオリエンテーション。
今回進行管理役であるプロセスマネージャーは川嶋 直さんです。

まずは、研修の意義や目的などわかりやすく丁寧に説明していただきました。

あらかじめ用意した紙と軽快なトーク(それに得意のジャンケン? (実はグー・チョキ・パーでのアンケート))を交え、張り詰めていた空気もすぐに和らぎます。



③
いよいよ講義のスタートです。
最初の講義は「ハロー、私、林野庁の川村竜哉講師が担当します。」

内容は、フォレスターの役割や森林づくりについて、終日(実質半日)講義を行いました。



④
講義の合間合間に質疑と応答の時間を設け、講義内容に関する質問や仕事を通じて抱えている疑問点等について意見交換を行いました。

答えられるものは私、川村がお答えいたします。(答えられないものは後日調べてお答えしますね!)



⑤
振り返りの時間です。
今日を振り返って、発見したことや気づいたこと、調べてみたいこと等忘れないよう今日の自分に対してメモを残します。



⑥
振り返りのメモを書き終えた後は、各人が記入した内容を班内で共有するため、1人ずつメモを読み上げます。

班ではほぼ全員が初対面です。班員各人の個性や経験等を知る上でも振り返りメモの読み上げは効果的です。

一人一人の疑問点や悩みを班全体で共有し、問題解決に繋げるグループワークこそこの研修の神髄といえます。



研修2日目(H24.7.31)

①
2日目の午前中も林野庁の川村講師による市町村森林整備計画や森林経営計画等に関する講義です。



②
講義の合間で質問の時間を設けます。問題点、疑問点等を班内で話し合います。

様々な意見、考え方があることに気づきます。また、色々話あっている内に疑問が解消されることもあります。



③
各班から班内で話し合ってまとめた疑問や質問を発表します。疑問点は全員で共有するとともに意見交換を行います。

皆さんそれぞれの現場で色々な疑問を抱えていることが分かりました。講師陣もできる限り答えてまいりますのでよろしくお願い致します。



④
続いてはこの研修最初のグループ演習となります。用意された資料(図面や森林情報)に基づき道の作設と森林整備事業を計画します。



⑤
班内で検討した内容を全体で共有するため班毎に発表します。多様な考え方があることを実感させられます。



⑥
発表が終わったところで松本寛講師から全体を通した講評を行いました。

また、明日の午後に現地確認をするので、各班はどこを確認する必要があるのか目星を付けます。



研修3日目(H24.8.1)

①
今日は1日現場です。
午前と午後に分かれて2箇所を
回ります。
写真は午前中の現場です。

まずは現況を把握し、将来どの
ような森林にしていきたいのか、ま
た、そのために必要な施業は何
か、現地を見ながら考えます。



③
各班からの発表と質疑が全部
終わったところで、講師から講
評を行いました。

外部講師の白石則彦講師、田
中浩講師それぞれから専門的
な観点に基づく助言や意見をい
ただきました。



⑤
午後もし現場で発表します。
昨日室内で発表した内容と現地
を見た結果どのように変更した
のか、その理由も踏まえて説明
します。

また、発表が終わった後は講師
陣による講評を行います。



②
この森をどうしていくのか、その
ためには何が必要なのか等、
森の中で発表です。
多少は蒸し暑さがあるものの森
の中は心地よいですね。



④
午後は昨日机上で検討した現
場へ移動します。

森の中で談笑しているのではあ
りません！
図面ではよく分からなかったところ
に行って確認します。

また、現地を歩くことで図面から
読み取れなかった様々なことが
分かります。
やはり現地踏査は重要です。



⑥
発表を終えて記念撮影。
写真では分かりにくいですが
が…皆さん笑顔が素敵です！
現場での1日、お疲れ様でした。



研修4日目(H24.8.2)

①
朝一番の講義はプロセスマネージャーの川嶋さんが講師を務める「コミュニケーションとプレゼンテーション」です。

講師ご自身が考案した紙芝居プレゼンテーション法(略称:KP法)を活用しながら言葉の伝え方、表現の仕方など説得力のある内容の話でした。



②
講義の後には実際にKP法を実演したプレゼンテーションを行います。

聞き手にいかに分かりやすく伝えるか、図や写真、イラストを交えて(それに身振り手振りも加えて)説明します。



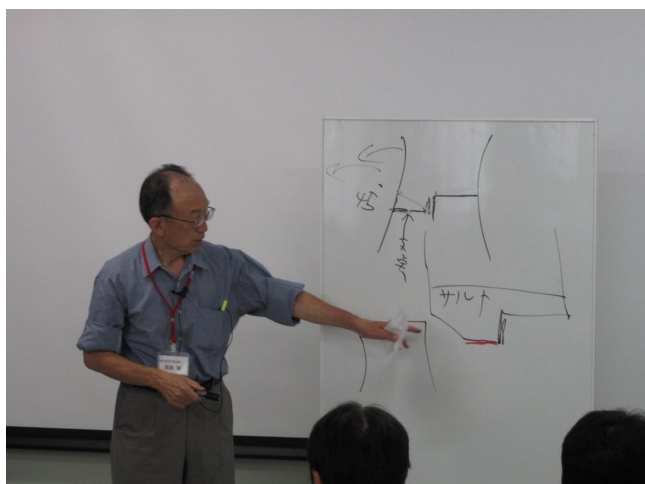
③
よほど発表が上手なのでしょう。聞き手は皆真剣に聞き入っています。

また、聞き手は説明を聞いた感想等をメモにして全ての発表が終わった後に発表した班にメモを渡します。

話し方について他人からアドバイスを受ける機会はなかなか無いのでとても参考になったと思います。



④
次の講義は外部講師による「木材の流通・販売」について山田稔講師による広範囲(日本全国)の木材の需要動向や材の流通・マーケットの話など講師の実体験に基づく新鮮な話を伺うことができました。



⑤
午後は宮越誠講師による労働安全、リスクアセスメントに関する講義からスタートしました。



⑤
講義のあとはグループ演習です。施業の集約化、作業システムの検討、後継者の育成など各班テーマを決めて議論を進めます。



研修最終日(H24.8.3)

①
5日間に渡る研修もいよいよ最終日の朝を迎えました。最終日、しかも朝というのに余裕がありません。

発表が控えているからです。発表に備え最終確認に余念がありません。



③
発表の後は質疑の時間です。質問に対し納得してもらえる応答をするのは難しいものです。

どんな質問が出るかヒヤヒヤしましたが、受け答えもかなりのものでしたよ。



⑤
最後は一言スピーチ。1人1人が次回(後期)の研修までやるべきことを紙に書いて全員の前で宣言します。



②
発表は紙芝居プレゼンテーション法で行います。

昨日のプレゼン演習の成果でしょうか、どの班も説明が上手です。

説明する役、紙を貼る役、役割分担をうまくしながら聞き手を話に引き込みます。



④
午後からは発表の講評です。皆さん、様々な悩みを抱えながら発表に臨んでいたことが分かりました。

後期も含めこの研修で少しでも多くの問題を解決できるようみんなで頑張っていきましょう！



⑥
5日間の研修、お疲れ様でした。次回の研修までお元気で！